

長岡市行政機能の配置にかかる現状と課題等

No.	現 状	課 題	考えられる対応
①	<p>●本庁舎のスペースが不足しているため、本庁組織を分割し、大手通周辺の分室などに分散配置している。</p> <p>●今後の職員数の見通しからも、本庁舎や分室のスペースが目に見えて縮小するとは考えにくく、本庁と分室の分散状況は当分継続することが見込まれる。</p>	<p>●本庁と大手通周辺に配置されている分室の距離の縮小</p> <p>●大手通周辺の分室の散点的配置状況の見直し</p>	<p>ア 別の便利な位置に新庁舎を整備するなど、付加価値を志向した新たな配置を行なう。</p> <p>イ 現在の本庁舎に必要な合築を行ない、分室の組織を集約する。</p>
②	<p>●災害時、災害対策本部が設置される建物(本庁舎)には、万全の耐震性が要求される。</p>	<p>●災害時の本部としての建物に必要な耐震性の確保</p>	<p>ア 耐震性が備わった新たな建物を整備する。</p> <p>イ 現本庁舎の耐震改修を行なう。(少なくとも20億円程度の費用がかかる)</p>
③	<p>●車を運転しない市民が市役所を訪れる場合は、長岡駅でバスを乗り換えなければならず不便である。</p>	<p>●本庁舎へのアクセスにかかる交通利便性の確保</p>	<p>ア 本庁舎を公共交通機関の結節点である中心市街地に配置する。</p> <p>イ 駅前から本庁舎まで無料バスなどを運行する。</p>
④	<p>●柳原分庁舎(中央公民館・科学博物館)、青少年文化センター、勤労青少年ホーム及び幸町分室(教育委員会を配置)が、狭隘又は老朽化している。</p>	<p>●新たな施設の確保</p>	<p>ア 別の既存建物を利活用する。</p> <p>イ 現在の位置で建替える。</p>
⑤	<p>●社会福祉センターの交通利便性が低いほか、駐車場が狭隘である。</p>	<p>●交通利便性が高く、駐車場が確保できる位置への移転</p>	<p>ア 利便性が高く、駐車場が確保できる位置へ移転する。</p> <p>イ 無料バスなどを手配し、現在地で対応する。</p>